

おい図書館

No.196

発行
代表
青木和子
松本市牧の原1-104
416
TEL 0477-311-0886

講演会

世界の図書館を旅して

～市民の知と学びの未来像～

青木和子

12月2日(土)、市民会館30号室で開催されました。主催は松本市立図書館。

講師の梅澤貴典さん(中央大学職員、都留文化大学非常勤講師)は、大学図書館や小中高校などで長年にわたり情報リテラシー(様々な手段で得た情報を主体的に活用する能力)教育に携わる傍ら、世界各地を旅し、実際に様々な図書館を巡って来られました。その貴重な経験をお聞きました。

まず、情報リテラシーについて。インターネットを上手に使うためには、図書館の役割は、大きい。

圧倒的多数が言っていることは、信じ易いが、匿名の情報拡散の危険性を知るべきだ。資料として引用するに値する責任ある情報を得るには、公共図書館などで契約している有料データベースなどの公式サイトを見ること。

出来れば、その国の言語で検索する。調べごとのプロである図書館司書の力を借りる。

様々な疑問は、図書館での自由な学びで無限の知の世界を旅する事から理解に近づく。

近所の図書館だけではなく、本中から本を探すには、全国6000

以上の図書館の蔵書と貸出し状況を横断検索できる「カーリル」というインターネット・サービスがある。

図書館の使命は、前の世代から受け継ぎ、後の世代に引き継ぐという「叡智の継承」である。

次に世界各地の図書館が紹介されました。

配布されたレジュメの内容は、①のエジプト編(新アレキサンドリア図書館)、②北欧編(デンマーク、ノルウェー、スウェーデン)、③北米編(アメリカ、カナダ)でしたが、梅澤さんが最初に予想された通り、残念ながら①と②までで終了となりました。

若い方らしい行動力と感性、そしてたくさんの方の映像と芸術に引き込まれ、とても楽しい世界各地の図書館の旅を堪能させて頂きました。

梅澤貴典氏の講演を聞いて

鎌瀬容子

「今の世はフェイクニュースだらけです」という話から梅澤氏の講演会は始まりました。

例えば「千と千尋の神隠し」という映画の舞台となる場所はいどこでしょうか？という問いに、一般の人はインターネットを検索するでしょう。

検索すると

- 台湾の九份（映画のヒットで観光客に人気の場所という）
- 群馬県の四万温泉旅館
- 四国の道後温泉
- 目黒の雅叙園

これらの事柄が出て来ます。この事が問題であると氏は言う。実際に私も検索してみても、なるほど似ている！と思うてしまった。宮崎駿監督に直接インタビューし

た記録によると、近所の「江戸たてもの園」がモデルになっているそうだった。

みんなが言っているから「本当」なのかな？インターネット検索によるものは、事実でないかもしれない。正しい情報を学んで得るために、図書館を利用しましょう。図書館での自由な学びで、無限の世界を旅してみよう」と梅澤氏は話す。

調べごとのプロである司書の力を借りて「ファレンス」を活用し、多くの資料と情報の中で、自分の足元をきちつと見分けて、真実は何かと判断する力を身につけることが、この時代、大切になっているという。

世界中の図書館を見て来た梅澤氏の話しは、予定の半分で時間切れとなりました。まだまだ

聞きたいと思いますので、来年にでも、再び後半の話しを聞きたいものです。



「世界の図書館を知る」

関連資料リスト

・未来をつくる図書館

菅谷明子著 岩波書店

・図書館の興亡

マシュー・バトル著 草思社

・世界の夢の図書館31

(株)エクスナレッジ

・死ぬまでに行きたい世界の図書館

笠倉出版社



千葉県立図書館の今後は？

青木和子

老旧化が著しい千葉県立中央図書館の建て替えを含め、西部圖書

館（松戸市）、東部図書館（旭市）との「3館体制」の見直しを視野に入れた「県立図書館の今後の在り方」について、千葉県教育委員会はこれまで長年にわたり検討を続けて来ました。

有識者による県生涯学習審議会は業者の調査結果を受けて、今年1月11日メキりのパブリック・コメントを募集。今年度中にも方向性を示す予定といっています。

審議会では、中央図書館のみの「1館体制」の意見が多勢を占めたとのこと。東部図書館、そして地元松戸市の西部図書館の今後をめぐって、県と市の話し合いがどの様に進められるのか、大変気にかかるところです。

特に公共施設再編を視野に入

れながら漸く動き始めた、松戸駅周辺まちづくり構想、新拠点ゾ

ン整備基本構想、図書館を中心据えた東松戸の複合施設建設

計画などに影響を及ぼさないことを願いつつ、注視したいと思っております。



まちづくり関連の諸会議

8月以降、次のような会議などが開催されました。

○8月22日(火)・11月22日(火)：松

戸駅周辺まちづくり委員会

○9月7日(木)・11月24日(金)・2018

年2月16日(金)：公共施設再編

整備審議会

○10月21日(土)：新拠点ゾーン整

備基本構想素案説明会↓こ

の素案に対するパブリック・

コメントを募集(10月1日

～10月31日)↓87件18項目

の応募

○12月25日(月)：東松戸まちづく

り用地活用事業に伴う、業

者による公開プレゼンテーション

これらは、総合政策部、公共施設再編課、まちづくり部、子ども部、図書館などが連携して進めているようです。12月25日に行われた公開プレゼンテーションは、松戸市としては画期的な試みと言えるのではないのでしょうか。これからも期待を持って注目し、傍聴を続けたいと思います。

松戸市担当部署訪問

11月15日(水)に青柳まちづくり部長、11月17日(金)に宮下図書館長、11月29日(水)に伊藤教育長、12月19日(火)に本郷谷市長を訪問しての面談が実現し、それぞれ希望の持てるお話を伺うことが出来ました。

市長及び教育長宛に要望書を提出しましたので次に掲載します。

松戸市の図書館整備に関する要望

(--- 略 ---)

長い間、私たちに市民が求めてまいりました、松戸市立図書館の整備に関しては、素晴らしいメンバーによる審議会の熱心な審議を経て、H.27年5月、「松戸市図書館整備計画」が策定されました。長年の懸念に、漸く光が射て来たことを、心から喜ばれております。

また、「松戸駅周辺まちづくり委員会」における「新拠点ゾーン整備基本構想」策定に向けた論議、並びに、「公共施設再編整備審議会」における「東松戸まちづくり用地活用事業」に向けた論議を傍聴させて頂き、そのいずれにも、図書館が大きな比重を持って組み込まれていることを、誠に嬉しく思います。

更に、東松戸の複合施設建設の計画段階で、市民の傍聴を可能とする公開プレゼンテーションという画期的な試みが行われることに、私たちの期待は、益々膨らんでおります。

就きましては、それぞれの計画における図書館部分は、H.27年策定の「松戸市図書館整備計画」に則り、松戸市が目指す図書館像を、実現させて頂きたく、お願い申し上げます。

先ず、喫緊の課題として、下記通り、要望致します。

記

東松戸の複合施設内に、地域館規模として開館予定の図書館への適正な職員配置をお願い致します。

図書館サービスを強化するために、職員の資質向上に必要な研修などの人材育成に努めて下さい。

上記の課題を実現するための予算措置を、何卒、よろしくお願い致します。

おい図書館

代表 青木和子